



生活介護班 3 班温泉 & BBQ 外出



里だより

No.371

令和4年12月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



十二月号もくじ



施設長より……………1

サビ管より……………2

主任より……………3

職員より・医務より……………4

サービス向上委員会より・

行事報告……………5

行事予定・

ありがとうございました・

編集後記……………6



つくしの里 ホームページ

<http://www.tsukushinosato.or.jp>



施設長より

入所施設



今年も残すところ、あとわずかとなりました。関係者の皆様のお力添えにより無事に年を越せそうです。昨年は「奇跡的に」なのか、県下のコロナ感染者も0人が続き安心できる年越しでした。今年はどうなるものやらと思っていた矢先にリスクレベルが「1」から「2」へ引き上げられ、今後の動向を見ていきたいと思っています。

さて、里だより十二月号の「施設長より」は、年末の挨拶と入所施設の役割について寄稿する予定にしていました。ところが、十一月初旬に老々介護の末、高齢者施設に入所予定となっていた愛妻を手にかけるといったニュースがあり、これは福祉で働く者として考えさせられる事件でした。

当施設はご存じの通り、親の亡き後、子どもの行く末を願って、ご家族が中心となって建てられた施設です。幾度もの制度改革の末、現在では障がい者支援施設（生活介護・施設入所支援）の事業を行っています。現時点で、二十人弱の方が入所を希望され、待っていらっしゃいます。福祉といっても事業ですので、定員に欠員が出ると減収となります。当然、安定した経営のためには満床が良いのは言うまでもありません。

施設設立の経緯から、「親の亡き後」の前の「親が（子どもを）見られなくなつて」にも注目しなければなりません。以前も書いたと思いますが、入所施設を利用せずとも、家族や地域で支える仕組みや環境があつて人生を全うできれば、それに越した

ことはありません。しかし、そうできない場合のための入所施設という位置づけもあるのではないのでしょうか。国の障害福祉計画では、施設入所者数の削減の目標値も示されているので、このようなことを書くのも、よろしくないのかもしれませんが。

入所を希望される方は、以前は在宅で生活をされている方が多かったです。近年では入院中の方も増えてきています。これは、おそらく二十年程前に提示された「精神保健医療福祉改革ビジョン」で入院医療中心から地域生活中心への流れが強くなったせいもあるのではないかと思われまふ。

施設見学には、ご本人も一緒に来られる方、家族だけで来られて入所希望を出される方と様々です。今後、利用されるかもしれない生活の場所ですので、出来れば、ご本人が来られて、見て、感じて、決めていただくのが望ましいと思っています。それが難しいのであれば、ご家族や後見人となる方が、いろいろな事業所を見て、ご本人に合ったところを決められることをお勧めしています。その結果、当事業所を選んでいただくのであれば大変ありがたいことです。

また、入所したらご家族と会えなくなるわけではありませんので、スタッフと共に施設での生活のことを考えていただくと幸いです。

さて、先述の事件は介護疲れの一言で済ませてはいけないうに感じます。その背景を考へることで、今ある利用者さんにご家族との縁や今後の施設や利用者さんの生活の在り方を見直す機会にしたいと思ひます。

施設長 松永一博

サビ管より

ダブル食

早いもので令和四年が終わろうとしています。世間はクリスマス一色に染まり、サンタさんのプレゼントを心待ちにしているお子様も多いのではないのでしょうか。

さて、十一月八日に日本全国で皆既月食が見られましたが、皆さんはご覧になったでしょうか。

今回の皆既月食は特別で、同時に天王星が月に隠れる「惑星食」も起きる『ダブル食』でした。皆既月食中の惑星食は、とても珍しく一五八〇年の土星食以来だそうです。実に四四二年ぶりの貴重な皆既月食。四四二年前は、織田信長がいた安土桃山時代だそうです。本能寺の変の二年前ということで、もしかしたらあの織田信長も見ていたかもしれないと思うと心が躍ります（この時代の皆既月食は不吉なことが起こる予兆として捉えられていたようですが：）。そして、今回のように皆既月食中に惑星食が見られるのは、三二二年後の土星食だということです。そうなると、この機会に見ておかなければ！と思い、カメラを片手に寒さに耐えながら、その瞬間をずっと待ち続けました。

赤銅色に染まる皆既月食を見ながら惑星食が始まる時間とにらめっこ。待ちに待った惑星食のシャッターチャンス！織田信長も眺めたであろう四四二年ぶりのダブル食にワクワクしながら写真におさめました。次は三二二年後。その頃の未来はどう

なっているのだろうかと思いつながら、長い年月を超え、織田信長と同じ環境にいることに妙な違和感を覚えると同時に一体感を感じました。自己満足と言われればそれまでですが、この一体感が心をワクワクさせ自分自身の励みになります。

十二月を迎え、つくしの里でもクリスマス会やもちつき大会を計画しています。利用者の方がワクワクし心躍る行事になるよう、担当者を中心に利用者の方へ聴き取りをしながら、準備を進めているところです。行事を遂行するにあたり、利用者・職員が一体となって楽しい時間を共に過ごし一体感が生まれる行事になればと思います。そこで感じる利用者一人ひとりのワクワクと一体感が、それぞれの励みになれば次の楽しみにつながると思います。

令和四年も残すところあとわずか。今年も新型コロナウイルスに右往左往した毎日でした。ご家族の皆様には外泊や外出の制限など、たくさんご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。来年は、利用者の皆さんが制限のない施設生活が送れるよう努めていきたいと思っておりますので、今後もしもご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

皆様にとって令和五年が良い年になりますように。それでは、良いお年をお迎えください！

支援係長 竹下幸樹



主任より

研修



月日が経つのはあっという間で、今年も残り一ヶ月となりました。日中の気温も下がり、冬らしくなってきたなと感じます。今年を振り返ると、新型コロナウイルスの感染・クラスターが思い起こされます。私自身もクラスター期間中に感染してしまい、日頃の感染対策や体調管理の甘さを痛感しました。県内においても、新型コロナウイルスの感染者数が、まだまだ多い状態です。また、インフルエンザや胃腸炎等も流行る季節になってきました。日頃の感染対策をしっかりを行い、利用者さんの体調管理に努めながら、日々の業務にあたっています。

先日、「サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の基礎研修」に参加してきました。研修では主に、個別支援計画書の作成方法のプロセスを学び、グループワークを行いながら実際に個別支援計画書の作成を行いました。事例対象者の情報・資料をアセスメントシートへ移していくことから始まり、一つひとつ手順を踏みながら対象者のニーズを導き、支援計画書に繋がっていきます。私のグループでは、六名中三名の方が放課後等デイサービスで働く児童福祉の方でした。今回の事例では、対象者が二十二歳という設定もあり、「慣れない」「難しい」という言葉も聞かれ、グループワークが進んでいきます。対象者のニーズがわかり、どういう目標を立てるのか話し合っている時にスマールステップの話題になりました。スマールステップと

は、目標を細分化して達成を目指す手法の事です。意見を出し合う際、私が考えるスマールステップと児童福祉の方が考えるスマールステップでは意見に相違があり、もっと小さな事から始めた方がいいのではないかとこの意見でした。達成できる目標を意見として出したはずなのに、もっとスマールな目標があるとは…。

一つの事でも捉え方や視点・経験等が違っていると意見も様々で、私自身、新たな発見も出てきます。研修の中でグループワークがあると、幅広い意見を聞く事ができ、毎回とても参考になる事ばかりです。ひよっとしたら普段行っている支援も違う視点や捉え方をする事で、今よりも上手くいくのではないかと。違う角度から見ると、支援方法の別の切り口が見つかるのではないかと。普段の支援場面を振り返り、様々な人が一人の利用者さんに関わり支えていくチームアプローチの重要性を改めて感じました。研修では、他にもサービス管理責任者と相談支援専門員の連携や、サービス管理責任者の業務内容・役割を知る事が出来ました。

支援計画書を作成する手順では、アセスメントに多くの時間を割いています。利用者さんの今を知っておく事はもちろんですが、成育歴等の過去の事も頭に入れておく必要があります。自分は何のくらい利用者さんの事を知っているのかな、後輩に伝える事が出来ているのかなと振り返り、利用者さんの人生に携わっているという認識を今一度持ち、少しでも希望やニーズを叶えていければと思います。

主任支援員 小嶋健仁

職員より



私事ですが、娘に「ご飯食べようか」「(入浴中)お風呂入ろうか」と声を掛けても、椅子の上に立ち上がったたり、冷たい水のシャワーを背中に浴びせられたりと、思い通りにいきません。私も性格上、単調ですので娘に大きな声を上げることもありました。

プライベートだけではなく、仕事をしていても思い通りにいかない事が多いです。こういう時に「自分如きが人の人生を思い通りにできるはずが無い」と考える様にしようと思いました。諦めに似ていますが、達観視するということです。また、他人のやり方が必ず自分に当てはまるとは限らないと感じるようになりました。私も新人時代は利用者さんはこちらの意思が通じない時は大きな声で話す事が多かったのですが、人と関わる仕事ですから、相手も私たち職員の事を見えています。関係性によって、他の人と同じやり方ではダメな時があります。これからも私らしさと、相手を尊重する気持ちを持って支援に取り組んでいきたいと思えます。(支援員 尾崎か)

つくしの里へ入職して、もうすぐ丸2年になります。利用者さん達との関わりは新しい気付きが多く、難しさ面白さを日々感じています。

先日、とても嬉しいことがありました。私が担当しているSさんには以前から性格が合わない利用者さんがいて、どうすることもできず、距離を取ってもらうしかないと思い込んでいました。ですが、班のレクリエーション(コップ渡し)で偶然隣に座った際、共に楽しんでいる様子が見られました。私はその日その場になかったため日誌と写真で知ることになったのですが、衝撃でした。後日、別のレクリエーション(輪投げ)でも隣同士に座ったところ、手を叩いて応援し合ったり喜び合ったりする様子が見られました。このことを大変喜ばしいと思うと共に、自分自身がまだまだ固定観念に囚われていた事に気づきました。今は毎日どんな風に利用者さん達と関わろうか、どんな気付きと出会えるかを楽しみにしています。(支援員 池崎)

医務より



今年度、職員の健康意識を少しでも高めることができれば思い、熊本セントラル病院の保健師さんが2ヶ月に1回施設で行っている保健指導・健康相談の枠内で、健康講話をしていただいています。10月は脂質異常について講話があり、中性脂肪・善玉・悪玉コレステロールの説明から、中性脂肪が増えすぎると動脈硬化が起こるしくみ、悪玉コレステロール改善のために心がけたい食事の選び方の話をしていただきました。ついつい選びがちな食品はコレステロール高め。“美味しい物は脂肪と糖でできている”納得です。身体を作っているものは日々の食事。身体に優しい食事を選んで、いつまでも健康でいたいと思える内容でした。自分の身体のことには二の次になっている職員が多いですが、短時間の講話の中で、少しでも自分の身体や健康について考えてもらい、利用者さんの健康のための支援にも繋がっていけばいいなと思えます。(看護師 松村)

サービス向上委員会より



■ 施設PR【支援員 松若・田中・山内】

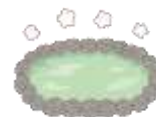
今年度からSNSを活用し、インスタグラムを始めました。利用者さんの日常の生活が写真や動画で見られますので、沢山の方に見て頂きたいです。また、里だよりでも毎月「今月の1枚」の写真を紹介しています。

施設ではよく写真を撮っていますが、コロナ禍でなかなか会えないご家族の方にも写真を通して様子をお伝え出来たらと思います。その他、利用者さんの描いた絵を版画にしてカレンダーを作成したり、つくしの里の特産物を作ろうとしたりしています。

今後もつくしの里をいろいろな方法でPRして、沢山の人が知ってもらえるように活動していきます。コロナでご家族の方や地域の方、ボランティアの方等との触れ合いの機会が少なくなっているため、少しでもほっこりするような出来事をお伝えし、身近に感じてもらう様にしていきたいです。

行事報告 ※10/21(金)～11/20(日) 実施分について報告いたします

★ 生活介護③班外出【11月2日(水) 家族湯はなみずき】



10月から延期になっていた班外出を無事に実施する事ができました。

コロナウイルス感染対策で思うように外出ができない3年間で、かなり久しぶりの外出でしたので、利用者さん以上に職員の方がドキドキ・ワクワクでした。

今回は、植木町にある家族湯「はなみずき」へ行きました。昼食は食材を持ち込んでのバーベキュー！「お肉！」「お野菜！」と箸が休む暇もないくらいの利用者さん達の食べっぷりに驚きが隠せませんでした(笑)。バーベキューハウスの前には芝生の広場があり、お腹を休める為にも皆で散策をしました。が、焼きそばが気になりソワソワ…。食後は家族湯にゆっくり浸かり、最後まで3班らしい賑やかな外出になりました。

制限のある生活でストレスも溜まっていたかもしれませんが、良い息抜き、気分転換になったのではないかと思います。3班らしく元気に活動にも取り組んでいきます。

(支援員 東)

★ 生活介護②班お楽しみ会【11月15日(火) つくしの里】

シャトレーゼのケーキに結婚式場のフランス料理。普段なかなか食べる事のない肉料理や魚料理などを食べました。残念ながら利用者さんの発熱等があり、各居室での食事となってしまいました。しかし、見慣れないケーキに釘付けになったり美味しいご飯を頬張ったりと、皆さん喜ばれていました。グループでの食事会が出来なかったため、12月に再度「お楽しみ会」としてお菓子やジュースを準備して楽しい時間を作りたいと思います。

(支援員 村上マ)



行事予定

☆ 生活介護班④班外出 (かけはし)

期 日：12月15日 (木)

内 容：熊本市の和食店で外食する予定です。今回こそ外出できますように・・・!



☆ クリスマス会 (つくしの里)

期 日：12月22日 (木)

内 容：今年も利用者さんと職員でクリスマス会を楽しみます♪



☆ もちつき大会 (つくしの里)

期 日：12月28日 (水)

内 容：利用者さんと職員で元気いっぱいのもちつき大会にしたいと思います



ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和四年十月二十一日～

令和四年十一月二十日です



【寄付・寄贈】

- ・ 後藤 弘子 様
- ・ 下村 一恵 様
- ・ 田代 千恵子 様
- ・ 平田 靖人 様
- ・ 守田 勝之 様
- ・ 渡辺 昭子 様
- ・ つくしの里保護者会 様
- ・ 米田 政輝 様
- ・ 高宗 信雄 様
- ・ 田上 至誠 様
- ・ 藤本 美紀 様
- ・ 山口 静美 様

【ボランティア】

- ・ 村里 和洋 様

誠にありがとうございました。

利用者さんの為に使用させて頂きます。



※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して、記事の記載・確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら、何卒ご容赦いただきたく存じます。

編集後記

慌ただしい年の瀬が近づいてきます。年末に焦らなくて良いように、計画的に大掃除を進めていきたいと思っております。

コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されていますが、利用者の皆さんが自宅でご家族と一緒に年越しができることを願っています。

施設PR委員会 今月の1枚!



カメラ目線をお願いします!

にっこり笑顔で はいピース♥



くまもと
障がい者芸術展へ
行って来ました！！



④班久々の調理実習！
お好み焼きを作りました(*^^*)

